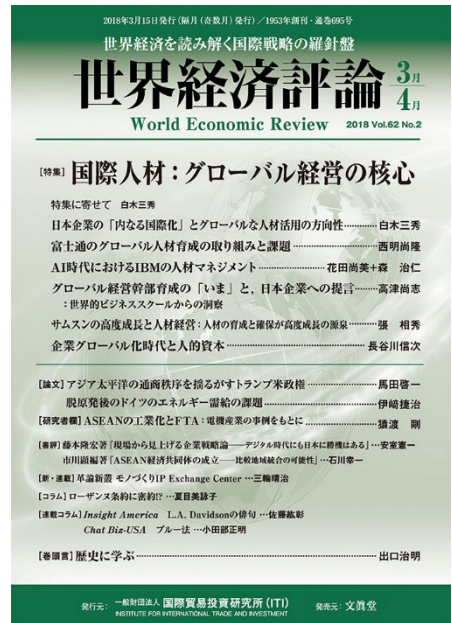


本論文は

世界経済評論 2018年3/4月号

(2018年3月発行)

掲載の記事です



世界経済評論

定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料

無料

OFF



富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読
期間中

デジタル版バックナンバー読み放題!!



世界経済評論 定期購読



☎0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

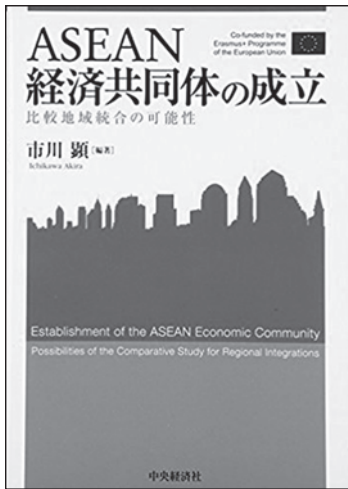
Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp
雑誌のオンライン書店

ASEAN 経済共同体の 成立

——比較地域統合の可能性

亜細亜大学アジア研究所教授 石川 幸一



[編著者]

市川 顕 (いしかわ・あきら)

関西学院大学 SGU 招聘客員准教授

[発行] 中央経済社, 2017年3月刊

[判型] A5判・ヨコ組, 218ページ

[定価] 本体 4000円+税

2015年12月末に経済共同体を創設したASEANは東アジアの地域統合のフロントランナーであり、東アジアの統合において主導的な役割を果たしている。地域統合の観点からASEANとEUとの多角的な比較を行った本書はASEANをより深く理解するために多くの情報と示唆を与えてくれる。

本書は、ディシプリンの視点で検討を行った第1部「比較地域統合論」と個別政策の観点で分析を行った第2部「比較地域統合政策論」の

2部構成である。序章「ASEAN経済共同体の成立と比較地域経済統合の可能性」に続いて、第1部では、「EUとASEANにおける地域経済統合の比較分析」、「比較の中のASEAN—EUはASEANのモデルなのか」、「国際機構論からみたEUとASEANの比較」、「EUとASEAN—比較地域統合の観点から」の4章が置かれている。第2部は、「ASEANにおける地域開発政策—大陸部5か国の産業立地に焦点を当てて」、「EUの地域開発政策およびASEANとの比較」、「EUとASEANの競争政策」、「ASEANにおける空港運営の特徴—EUとの対比による考察」の4章から構成されている。

各章ともASEANとEUの詳細な比較を行っているが、とくに第2章はASEANの歴史と経済などの実態を踏まえ、目標に対して制度化がどのように寄与したかという視点で考察を行っており示唆に富んでいる。安全保障分野では、EUはASEANのモデルとするのは不適當であるが、機能的協力の分野では一定程度妥当性があるとして、AEC構築でのEUの経験を有用であるとみなしていると指摘している。

ASEANは主権委譲を行わず、主権国家が協力する形で統合を進めており、制度化の点ではEUに比べると低いレベルである。極めて大きな経済格差、多様性、行政能力の差などの条件下でASEANの経済統合は時間をかけて段階的かつ柔軟に進められたためである。こうした点に加え、ASEANの経済統合は国際的な生産ネットワークに参加することを目的にした開かれた統合であり、途上国の経済統合に参考になる。ASEANをモデルと捉える比較地域統合研究を期待したい。

(いしかわ こういち)